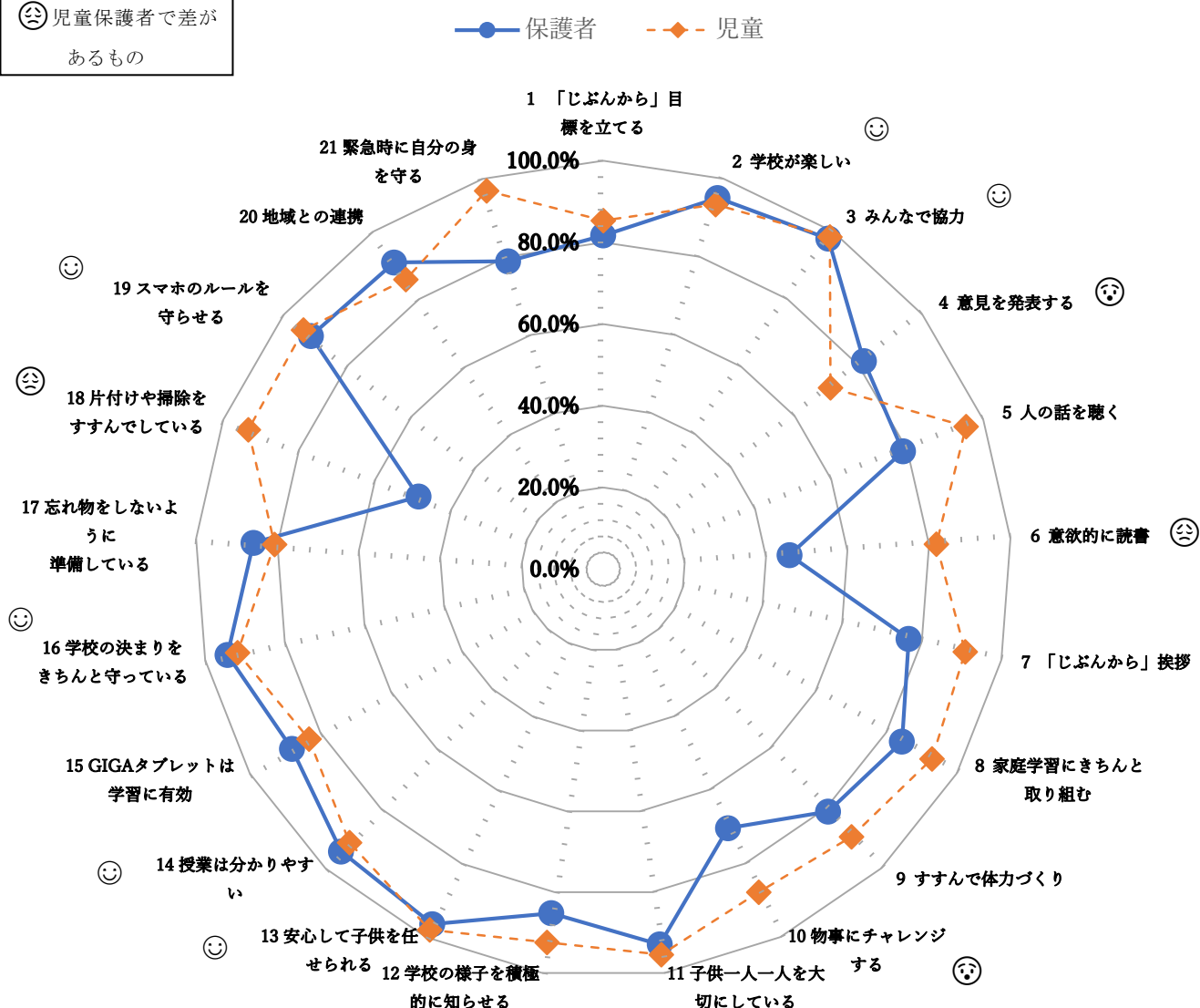


## 後期学校評価アンケートの結果の報告

後期学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。  
保護者の皆様からたくさんのご意見や、私たち教職員への励ましのお言葉をいただきました。皆様の思いをしっかりと心に刻み、今後の教育活動をさらに充実させていきたいと思ひます。

- 😊 90%以上のもの
- 😐 課題があるもの
- 😞 児童保護者で差があるもの

### 学校評価 児童と保護者の比較



上のグラフは、後期の学校評価アンケートで、「そう思う」「だいたいそう思う」の数値を合計したものです。点線は児童、実線は保護者を表しています。このグラフの設問項目

2, 3, 11, 13, 14, 16, 19 などからは、90%以上の児童・保護者が、それぞれの学年に応じた活動を行い、子供たちは楽しく学校生活を送れていると感じていることが分かります。一方、項目 4, 10 などは、他の項目に比べて低くなっており、主体性や自己表現に課題があると感じていることが分かります。項目 6, 18 などは、児童と保護者の評価に大きな違いがあります。学校では頑張っていますが、家庭では結びついていない様子が表れています。

児童の評価では、「2 学校が楽しい」「3 みんなで協力」「11 子供一人一人を大切にしている」「13 安心して過ごせる」の項目が高い数値を示しています。これらの結果から3密回避のために活動が大きく制約されているは中ではありますが、子供たちが友達とのつながりの大切さを感じていることが分かります。また、日常の生活や教育相談などの中で、子供と教師が良い関係でつながることができていることも分かります。一方、自己表現の1つである「4 意見を発表する」では、自分の考えを言葉で表現することについて約3割の児童が満足していないという結果が出ています。今後も子供たちがより「言いたい！」と思える授業や活動を工夫していきたいと思えます。

重点目標「よし やってみよう！」に関する「10 物事にチャレンジする」の結果からは、まだまだ不十分なことが分かります。話し合いや学級、委員会の活動の際、子供たちの思いを尊重し、子供中心で活動を考えるようにしてきました。少しずつ主体性の芽が見え始めてきてはいますが、全てを子供の手で進めるまでには至っていません。なかなか目に見えにくい部分ではありますが、少しずつ伸びている芽を大切にしていきたいと思えます。

「6 読書」については、少しずつ図書室の利用の制限が解かれ始め、読み聞かせも再開しています。子供たちの高い読書の意識をさらに図書委員会や学校司書の活動をとおして、家庭での読書に結び付くようにしていきたいと思えます。

「15 GIGA タブレットは学習に有効」の数値をみると、授業の中で有効活用されていることが分かります。1・2年生にもタブレット端末の整備が完了しました。まだまだ有効な活用は難しいと思われませんが、学年に合わせた活用方法を工夫していきたいと思えます。今後も、機器の使用を手段として、目的にならないように留意していきたいと思えます。

## 【2 学校の数値目標から】

項目	児童の評価		合計	グランドデザイン 目標値
	できている	まあできている		
学校生活が楽しい	81.3%	12.1%	93.4%	95%
すすんで挨拶	65.2%	25.8%	90.9%	90%
みんなで協力	87.9%	10.6%	98.5%	90%
きまりを守る	51.8%	40.1%	91.9%	90%
授業が分かる	67.0%	24.4%	91.4%	95%
ICT機器を活用	58.9%	24.4%	83.2%	95%
自分から伝える	31.3%	39.9%	71.2%	80%
読書を楽しむ	42.4%	39.4%	81.8%	85%
じぶんから取り組む	38.9%	46.5%	85.4%	85%
すすんで体力づくり	68.2%	21.2%	89.4%	85%
安全な学校、命の教育	86.4%	11.6%	98.0%	95%

学校の数値目標と児童の意識を比較してみました。多くの項目で目標上回っています。ご家庭や地域の皆様のご協力のおかげだと思えます。

素直で優しい神戸地区の子供たちの「やる気」をさらに伸ばしていくために、児童会では「めざせ3スター ベストなあいさつ・支え合い・チャレンジ」をスローガンに「神戸ギネスチャレンジ」「あいさつビンゴ」に取り組んでいます。クラスごと「よし やってみよう」と考えた目標を達成できるようにチャレンジをしたり、いろいろな挨拶の目標達成でビンゴカードを埋め、ビンゴを目指したりする「あいさつビンゴ」で、子供同

士のつながり、挨拶の広まりを目指しています。

また、「じぶんから伝える」項目では、次第にグループ活動や集団活動に制限も緩和されてきてはいますが、子供同士が思いを伝え合う機会が減っています。子供たちは、もっと伝えたい、もっと詳しく知りたいという思いを持っているので、十分に言葉を交わすことができないことに満足できていないようです。ICT 機器や、ホワイトボードなどを活用して、伝え合う機会の充実を図っていきたいと思います。

今回のアンケートで、「20 学校は、地域と連携した教育活動ができているか。」「21 子供は、緊急時に自分の命を守るために適切な判断と行動をすることができる。」を追加しました。20 では、85.8%の子供が充実した学びを実感しています。今後も学校教育の様々な場面で地域の皆様にご協力いただき、地域と連携した教育活動を進めていきたいと思います。21 では、97.0%の児童ができています。しかし、避難訓練の様子を見ると、指導の必要を感じる場面もあります。日常生活の中で自分の命を守る行動の指導を続けていきたいと思います。

### 【3 前期・後期の結果比較】

(数値は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた数です)

項 目	児 童			保 護 者		
	前 期 (%)	後 期 (%)		前 期 (%)	後 期 (%)	
1 自分から取り組む	87.2%	85.4%	↓	81.8%	81.7%	↓
2 学校が楽しい。	94.9%	93.4%	↓	96.1%	95.1%	↓
3 みんなで協力	96.9%	98.5%	↑	97.5%	97.9%	↑
4 発表ができた	67.7%	71.2%	↑	75.4%	81.7%	↑
5 話を聴く	94.4%	95.5%	↑	77.8%	78.9%	↑
6 読書	89.3%	81.8%	↓	45.3%	45.8%	↑
7 じぶんから挨拶	93.4%	90.9%	↓	79.3%	76.8%	↓
8 家庭学習	94.4%	92.9%	↓	84.7%	84.5%	↓
9 体力づくり	88.8%	89.4%	↑	82.8%	81.0%	↓
10 物事にチャレンジ	87.2%	87.8%	↑	74.4%	70.4%	↓
11 教師との関わり	95.9%	95.5%	↓	93.6%	93.0%	↓
12 学校の様子を知らせる	93.4%	92.4%	↓	85.2%	85.2%	—
13 安全な学校	98.0%	98.0%	—	95.6%	96.5%	↑
14 授業は分かりやすい	92.9%	91.4%	↓	92.1%	94.4%	↑
15 ICT 機器は有効	94.9%	83.2%	↓	90.1%	88.0%	↓
16 学校のきまりを守る	94.9%	91.9%	↓	93.6%	94.4%	↑
17 準備をしっかりする	87.6%	80.7%	↓	82.8%	85.9%	↑
18 片付け	93.3%	93.4%	↑	49.3%	48.6%	—
19 スマホのルール	98.3%	93.9%	↓	86.6%	91.5%	↑
20 地域との連携	未実施	85.8%	↓	未実施	90.8%	↓
21 自分の身を守る	未実施	97.0%	↓	未実施	78.9%	↓

前期と後期の結果を比較してみました。約半数の項目で、前期よりも「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が増えています。

しかし、1, 2, 7, 8, 9, 10, 11, 15 では、割合が下がっています。1, 2, 9, 10 では、これまで様々な制限がありました。今後、変化する状況に合わせて工夫をして、子供の活動を充実を進めていきたいと思います。

また、8, 11, 15 では、学校と家庭の情報共有が必要だと感じます。効果的な情報発信の方法を検討していきたいと思います。

## 【 4 保護者の皆様の意見から（抜粋） 】

### 子供や教師の関わり

- ・ 子どもの考え、意見を聞いてくださる先生もいらっしゃいますが、中には先生の意見、考えを押し付ける先生もいらっしゃるみたいです。
- そして、悪い事をしたら注意をたくさんして怒ってください。だけど、良い事をしたらたくさん褒めてほしいです。

子供の想いを聴き、子供に寄り添って子供と共に考えていくことはとても大切なことだと思います。もう一度このことを職員間で確認をして、子供と接するようにしていきたいと思います。

「褒めて伸ばす」こんな言葉があるように、褒められると次への意欲がわきますが、叱られたままでは次へとつながりません。命にかかわるようなことの場合は、叱ることもありますが、褒めることを大切にしたい指導を続けていきたいと思っています。

### 学習について

- ・ 自分の考えをまとめて発表する、図にあらわすなど、プレゼンテーションの勉強を繰り返して、積極的に意見を言えるようになって欲しいです。

全学年に GIGA タブレットの配備が整いました。学年に応じた活用の仕方を工夫しながら、「調べる」「まとめる」「伝える」の力が伸びていくようにしていきたいと思っています。

### 子供の様子から

- ・ コロナにとらわれすぎずに、子どもたちの今を大切に色々な物事を決めていただきたい。

子供のことを考えて、感染レベル等多面的な情報を基にいろいろな決断をしています。コロナに罹患してしまっただけでは、むしろそのお子さんの「今」を失うことになってしまいます。とらわれすぎず、でも安全に安心して生活・活動できる判断をしていきたいと思っています。

### その他

- ・ 出欠席の連絡が Web でできるとありがたいです。
- ・ 体温報告は、欠席連絡等にマチコミを利用出来る様になると大変助かります。
- ・ 朝に学校へ電話する方法は双方負担が大きいと思いますので、検討いただけると幸いです。

マチコミ等の Web を活用して、の報告・連絡のご提案をいただきました。校内でも話題になります。現在の環境では、ご提供いただいたデータをタイムリーに活用することが難しく、お手数をお掛けする場面が多くなることが予想されています。Web 等の活用が、有用だと考えられる場面では、積極的に導入をしていきたいと思っています。

たくさんの貴重なご意見をありがとうございました。

いただいたご意見を参考にし、後期も教職員一同、子供たちが「じぶんから」学び、よりよい学校生活を送ることができるよう、精一杯支援してまいります。今後も、ご協力よろしくお願いいたします。